

環境経営レポート

【レポートの対象期間：2023年度：2023年7月～2024年6月】

創和建设 株式会社

《ご挨拶》



創和建设 株式会社
代表取締役社長
川島 繁

《目次》

1. 組織の概要	P-1
2. 対象範囲	P-1
3. 環境経営方針	P-2
4. 環境経営目標	P-3
5. 環境経営計画	P-3
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	P-4
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P-5・6
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	P-7
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P-7

1. 組織の概要

1. 事業所及び代表者名

創和建設 株式会社
代表取締役 川島 繁

2. 所在地

〒373-0037 群馬県太田市新道町1264番地4

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役 川島 繁
環境管理責任者 : 主任 石原 哲夫
担当 : 総務 竹内 悦美
TEL : 0276-31-5183
FAX : 0276-58-2394

4. 事業の内容

舗装工事・土木一式工事業
産業廃棄物収集運搬業（自社運搬のみ）

5. 許認可

群馬県知事（許可）第16226号
群馬県 産業廃棄物収集運搬業許可証 許可番号 01000073247
埼玉県 産業廃棄物収集運搬業許可証 許可番号 01100073247
栃木県 産業廃棄物収集運搬業許可証 許可番号 00900073247

6. 事業規模

活動規模	単位	2021年度	2023年度
売上高	百万円	395	552
従業員数	人	15	17

2. 対象範囲

1. 対象範囲（認証・登録範囲）

創和建設 株式会社 全組織及び全活動

環境経営方針

〔基本理念〕

創和建设株式会社は、土木工事を通じて、社会に貢献し、より良い地球環境の実現に向けて、積極的に環境への取組を推進します。

〔基本方針〕

1. 次の項目を重点項目として継続的に取り組み、改善に努めます。
 - ①電力・燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
 - ②廃棄物の発生抑制、産業廃棄物の再資源化に努めます。
 - ③建設資材及び事務用品等の環境配慮型製品の使用に努めます。
2. 事業活動に関わる環境関連法規を遵守します。
3. 環境に配慮した工事に努めます。
4. 地域貢献活動を推進します。
5. 環境方針は、全社員に周知し、社員の環境に対する意識の向上を図ります。

制定日 2024年 10月 1日

創和建设 株式会社
代表取締役 川島 繁

4. 環境経営目標 5. 環境経営計画

環境経営目標（環境経営レポート対象期間）				環境経営計画（環境経営レポート対象期間）
	項目	基準年 （実績）	2023年度 目標	実施事項
1	売り上げ 100万円当 り二酸化炭 素排出量 の削減	2021度 （332.3kg-CO2/100万 円）	2021年度に対して2% 減	①空調温度適正化・表示
				②照明・PC電源不要時のOFFの推進
				③エアコン清掃の実施
				④エコドライブ推進
				⑤社用車の点検・整備
				⑥電力、ガソリン量の集計
2	売り上げ 100万円当 り一般廃棄 物排出量 の削減	2022年度 （3.23kg／100万円）	2022年度に対し2%減	①分別ルールの徹底
				②廃棄物置場の整備
				③廃棄物排出量の集計
				④裏紙使用ルールの徹底
3	売り上げ 100万円当 たりの水使 用量の削 減	2021年度 （0.181m ³ /100万円）	2021年度に対して2% 減	①毎月のメータを確認する（漏水防止）
				②節水表示
				③増量ノズルへの交換
				④トイレの節水
4	産業廃棄 物の再資 源化（%）	95	95	①分別促進
				②リサイクルの促進
				③適切な業者の選定
				④マニフェストの適切管理
5	本業に関 する目標	①道路の清掃		
		②除草作業		
		③除雪作業		

*購入電力の調整後排出係数は、0.443kg-CO₂/kWh【東京電力エナジーパートナー（株）】を使用しています。

*化学物質は使用量が少ないため、適切に管理していきます。

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

空調温度適正化・表示



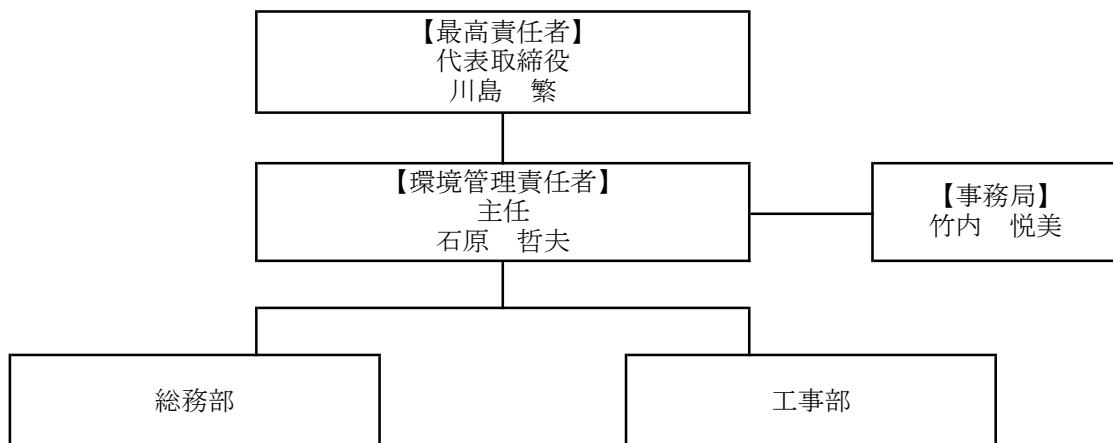
節水表示



環境に配慮した取組等



エコアクション21取組の実施体制



7. - 1 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

環境経営目標（環境経営レポート対象期間）							環境経営計画（環境経営レポート対象期間）	
	項目	基準年 （実績）	2023年度 目標	2023年度 目標値	2023年度 実績	目標の達 成状況	実施事項	評価
1	売り上げ 100万円 当り二酸化 炭素排出量 の削減	2021年 度 (332.3kg － CO2/10 0万円)	2021年 度に対し て2%減	325.7	297.4	達成	①空調温度適正化・表示	○
							②照明・PC電源不要時のOFFの推進	○
							③エアコン清掃の実施	◎
							④エコドライブ推進	◎
							⑤社用車の点検・整備	◎
							⑥電力、ガソリン量の集計	◎
2	売り上げ 100万円 当り一般 廃棄物排出 量の削減	2022年 度 (3.23kg ／100万 円)	2022年 度に対し 2%減	3.16	5.24	未達成	①分別ルールの徹底	○
							②廃棄物置場の整備	○
							③廃棄物排出量の集計	◎
							④裏紙使用ルールの徹底	○
3	売り上げ 100万円 当たりの 水使用量 の削減	2021年 度 (0.181m³ ／100万 円)	2021年 度に対し て2%減	0.17	0.089	達成	①毎月のメータを確認する（漏水防止）	○
							②節水表示	◎
							③増量ノズルへの交換	△
							④トイレの節水	△
4	産業廃 棄物の 再資源 化(%)	95	95	95	96.4	達成	①分別促進	○
							②リサイクルの促進	○
							③適切な業者の選定	○
							④マニフェストの適切管理	○
5	本業に 関する 目標	①道路の清掃						○
		②除草作業						○
		③除雪作業						○

※環境経営計画の取組・評価【◎良く取組めた・○取組めた・△取組みが不足していた・×取組めなかった】

※主な環境負荷実績

環境負荷	2021年度 （基準年）	2023年度 （環境経営レポ ート対象期間）
①二酸化炭素排出量（kg-CO ₂ ）	128275.72	164188
②一般廃棄物排出量（kg）	未把握	2893
③水資源投入量（m ³ ）	70	49

7. - 2 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標(環境経営レポート対象期間の次年度及び中長期目標)						環境経営計画(環境経営レポート対象期間の次年度)
	項目	基準年 (実績)	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標	実施事項
1	売り上げ 100万円当 り二酸化炭 素排出量 の削減	2021年度	2021年度 に対して 1%減	2021年度 に対して 2%減	2021年度 に対して 3%減	①空調温度適正化・表示
						②照明・PC電源不要時のOFFの推進
						③エアコン清掃の実施
						④エコドライブ推進
						⑤社用車の点検・整備
						⑥電力、ガソリン量の集計
2	売り上げ 100万円当 り一般廃棄 物排出量 の削減	2022年度	現状把握	2022年度 に対して 2%減	2022年度 に対して 3%減	①分別ルールの徹底
						②廃棄物置場の整備
						③廃棄物排出量の集計
						④裏紙使用ルールの徹底
3	売り上げ 100万当た りの水使用 量の削減	2021年度	2021年度 に対して 1%減	2021年度 に対して 2%減	2021年度 に対して 3%減	①毎月のメータを確認する(漏水防止)
						②節水表示
						③増量ノズルへの交換
						④トイレの節水
4	産業廃棄 物の再資 源化(%)	2022年度	95	95	95	①分別促進
						②リサイクルの促進
						③適切な業者の選定
						④マニフェストの適切管理
5	本業に関 する目標	①道路の清掃				
		②除草作業				
		③除雪作業				

次年度の環境経営目標及び環境経営計画について

エコアクション21運用を始めて間もないため、当初の中長期目標で次年度も進める。
同じく、環境経営計画、実施体制も前年度と同じ計画で進める。

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
騒音規制法	特定建設工事の届出	遵法
振動規制法	特定建設工事の届出	遵法
フロン排出抑制法	3カ月/1回簡易点検の実施	遵法
浄化槽法	保守点検実施、法定検査実施	遵法
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証）、 マニフェスト交付・保存及び交 付状況報告、水銀使用製品廃棄 物の適正保管及び処分	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

2024年10月1日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2019年から群馬県の環境G S事業者として、二酸化炭素等の排出削減に取り組んでいましたが、さらに、環境活動を深められるよう、この度、エコアクション21にも、取り組むことにしました。
エネルギー消費による二酸化炭素排出量を数値で確認し、その多さを再認識しました。この二酸化炭素が地球温暖化を促進すると考えますと、省エネ活動の重要性を改めて実感しました。
これからは群馬県環境G Sと合わせてエコアクション21に取り組み、持続可能な社会のために、微力ながら尽力する所存です。
目標に対して努力を続けているが、売り上げの変化により、目標が未達成になってしまうことがあるが、諦めずに削減に取り組んでいきたい。